

リーグ戦・女子部リーグ戦代替大会

立合要項

本要項は実施要項記載の基本の時間割をもとに作成されている。立合の流れは必ずしも本要項を遵守する必要はなく、状況によって改変することができる。

- ・試合の進行方法は立合と両対戦校の三者による協議をもって決定する。
- ・立合は事前に都学連ホームページから必要書類をダウンロードし、必要に応じて印刷するなどの準備をすること。
- ・試合中に異常が発生した場合は進行を一時中断し、立合と両対戦校による三者協議で解決すること。その際、何が起きてどうやって解決したか等の事情を学連に報告すること。

学連事務所に結果報告

- ・試合終了次第、速やかに主審は学連事務所に電話をし、試合結果の報告をする。
※詳しい報告の仕方は p.5 を参照。

立合書類提出（1か2のどちらかの方法で提出すること。）

1. 主審が公式記録用紙に用いた印鑑と、立合書類一式を学連事務所に持参する。
(主審が来られない場合、主審の印鑑を代理の者が持参する)

○受付時間 試合当日：～18:00 翌月曜日：17:00～18:00

学連事務所電話番号

03-6910-0791

03-6910-0792

2. PDFの形式でメールで立ち合い書類一式を学連まで送信

メールアドレス

R3.togakuren.iinkai@gmail.com

1. 立合が両校の道場に入れる場合

例：A 大学 vs B 大学、立ち合い C 大学

A 大学に立ち合い 2 人（主審、副審）、B 大学に立ち合い 2 人（主審、副審）

携帯品（共通）

黒ボールペン、赤ボールペン、印鑑（主審、副審）

A 大学に行く立ち合いが持参する書類

立ち合い要項・公式記録用紙（1）・選手登録用紙（A 大学分）・立ち順用紙（1）・立合状（1）・東京都学生弓道連盟規約（+規約の解釈付）・公式記録の付け方

B 大学に行く立ち合いが持参する書類

立ち合い要項・公式記録用紙（1）・選手登録用紙（B 大学分）・立ち順用紙（1）・立合状（1）・東京都学生弓道連盟規約（+規約の解釈付）・公式記録の付け方

試合の流れ

それぞれの大学で行われる試合を第三者からなる立ち合いが監視する。

立ち合いが相互にタイミングを合わせ、試合を進行する。

立ち合い同士が連絡を取り合い的中を随時共有し、相手校の黒板に書くなどの方法で相互にリアルタイムで共有する。

9：00 道場準備完了

9：10 立合道場到着

- ・必要書類再確認、
- ・予備を含めた的中の確認（側面の紙が剥がれていないか、真円に近いかどうか、的中の串が必要本数準備されているか）
- ・的中付け、的中見の打ち合わせ
- ・携帯電話の設定を確認（相手校立合との連絡が取れるようにしておく。着信音等が鳴らな

いようにしておく。)

9：40 附け矢開始

附矢開始宣言

附矢開始時刻の少し前に師範席前に立つ。(副審は師範席に座ったまま)

開始時間になったら宣言する。

「附矢を開始してください。」

附矢開始後立順用紙を渡す。

的替

持ち矢がかかり、附矢終了が近づいたら的替をお願いします。

最後の矢取りが的場から出たらすぐに的替の指示を出す。

※的見の統一

- ・ 的の呼び方…大前・二的・落前・落
- ・ 位置の変え方…「・・・(気持ち)前(後ろ)にしてください。」
- ・ 高さの変え方…「・・・(気持ち)上げてください(下げてください)。」
- ・ 傾きの変え方…「・・・を・時ごろ押してください。」

持ち的確認

- ・ 選手が控えにそろい、主審・副審は師範席前に立つ。

「持ち的の確認をお願いします」

(各校持ち的の確認)

- ・ 確認が済んだら串的串をつけさせる。串的串は必ず使用すること。

「串を付けてください。」

「結構です。」

10：30 試合開始

相手校立ち合いに連絡を取り、試合を開始しても良いか確認を取る。

対戦校同士でなるべくタイミングを合わせて試合進行が行えるようにする。

試合開始宣言

礼をして小さな声で

「時間となりましたので(時間より少々早いようですが・遅くなりましたが)

試合を開始させていただいてよろしいでしょうか」

了解が取れたら、礼をして立つ。再び主審・副審が師範席前に揃う。

「ご集合願います。」

- ・選手を整列させ、次のように宣言する。

「只今より、令和 年度リーグ戦代替大会

第 週 ブロック、

 大学対 大学の試合を開始させていただきます。」

- ・立順用紙提出・交換

「試合に先立ちまして、主将による立順用紙の提出をお願い致します。」

「なお、試合中に生じた出来事につきましては、実施要項と三者協議により処理させていただきます。礼。」

試合進行

「〇〇時〇〇分から1立ち目を行う」など、立ち合い同士で連絡を取り合って両校のタイミングを合わせながら試合を開始、進行する。

出場選手照合

主将から受け取った立順用紙を速やかに選手登録用紙と照らし合わせる。

- ・出場選手名(フルネーム)の確認
- ・補欠登録選手も同様に確認
- ・学年・新人の確認

※全ての選手が登録されているか確認し、それが終わるまでは立を始めさせない。

公式記録用紙・黒板に記入

※別紙「公式記録見本」及び「公式記録のつけ方」参照。

- ・黒板に記入（時間がなく記入が間に合わない場合は最低限相手校の記録を記入する。）
- ・各立の確認終了後、公式記録用紙に従って記入する。

試合中

試合中は師範席に座って記録をするとともに、射手の行為を確かめ的中を確認する。

的中確認

- ・落の選手が本座まで退場、安全確認次第

「お願いします。」

(的中確認)

※確認が終わるまで矢を抜かせない。

- ・公式記録の的中と確認内容に差異がなければ

「結構です。」

(矢取り)

※行射の妨げとなる**危険矢が出た場合**、行射を一時中止し**当該の的のみの**的中確認を行う。

主審と看的側での的中の確認が取れ次第、当該の的のみ矢取りを行う。

⇒行射終了後の的中確認は、取り除いた矢の的の中を含める。

例)○×(1・2 本目)→2 本目が危険矢／的中確認・矢取り／行射再開→○○(3・4 本目) ⇒行射終了後の的中確認「三中(○×/○○)」

・各回の確認が終わるごとに相手校の立ち合いに連絡を取り、相互に的中を共有する。

・共有された相手校の的中を黒板に書く。

選手交替

・立順用紙の補欠登録選手と照合

・公式記録用紙へ記入

・相手校への通知を確認

→当該の立の入場、行射

※届出のない場合は交替選手の矢を無効とする。

また、同一試合中の**再出場は認めない**。

的が外れた場合

・次の取懸けを止め、安全確認次第

「お願いします。」

(当該の的の的中確認)

※立後の的中確認同様、**確認が終わるまで矢を抜かせない**。

「結構です。的を掛けてください。」

・当該の的で引く選手を集め、再度持ち的の確認を行う。

試合終了

試合結果確認

・公式記録用紙を持ち主将に、

「記録用紙の確認をお願い致します。」

・相手校の立ち合いに連絡を取り、**総的中ならびに勝敗を確認する**。

勝敗宣言

・両校(各校)確認終了後、試合開始と同様、師範席の前に並ぶ。

「ご集合願います。」

「只今の試合の結果、(先攻) _____ 大学 中、(後攻) _____ 大学 中、
よって _____ 大学の勝ちとさせていただきます。」

※皆中賞がいた場合

「尚、只今の試合で _____ 大学 年 _____ くん(さん) が皆中賞を獲得致しまし
た。」

「双方(各校)、礼。」

同中競射

・試合結果の確認後、選手を整列させて次のように宣言する。

「只今の試合の結果、先攻 _____ 大学 中、後攻 _____ 大学 中、
よって同中となりましたので、一手競射(決定しない場合、一本競射で決定するまで)を
執り行います。……」

※選手交代は認められる。実施用事項参照

・勝敗がついたら再び集合させる。

「ご集合願います。」

「只今の競射の結果、(先攻) _____ 大学 中、(後攻) _____ 大学 中、
よって _____ 大学の勝ちとさせていただきます。礼。」

日程表通りに開催した場合、学連事務所に結果報告

試合終了次第、学連事務所に電話をし、試合結果の報告をする。

※連絡先は本要項表紙を参照のこと。

「リーグ戦 _____ 週、 _____ ブロック

_____ 大学対 _____ 大学の試合が終了しました。」

的中報告、皆中賞報告

○立合書類提出→要項表紙を参照

日程表通りに開催できなかった場合

リーグ期間の土日であれば役員が事務所にいるが、その他のタイミングではない可能性
が高い。

よって別日程で行われた場合は電話による報告はしなくてもよい。

立ち合い書類の提出については土日に事務所まで持参するか、pdfの形で公式記録用紙を
メールで提出する。

提出先メールアドレス

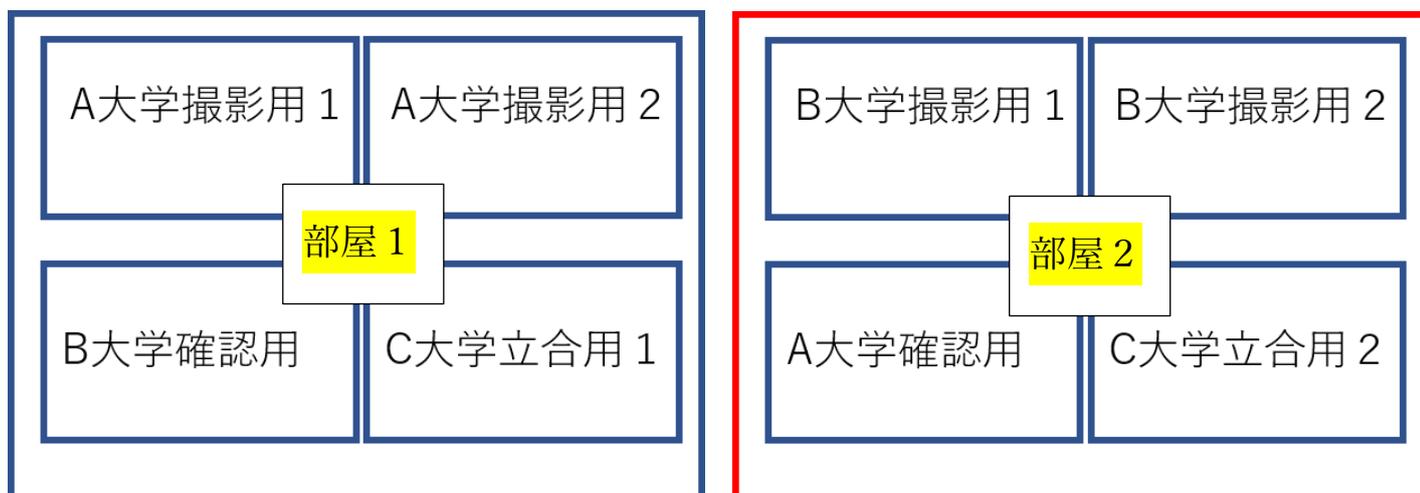
r3.togakuren.iinkai@gmail.com

2. 立合が道場に入れない場合

立合い同士でコミュニケーションをとる必要があるため、立合い同士が同じ場所にいることが望ましい。

例：A 大学対 B 大学 立合 C 大学（男子の場合）

zoom の部屋を 2 つ作り、それぞれに立合いが 1 人ずつ入る。

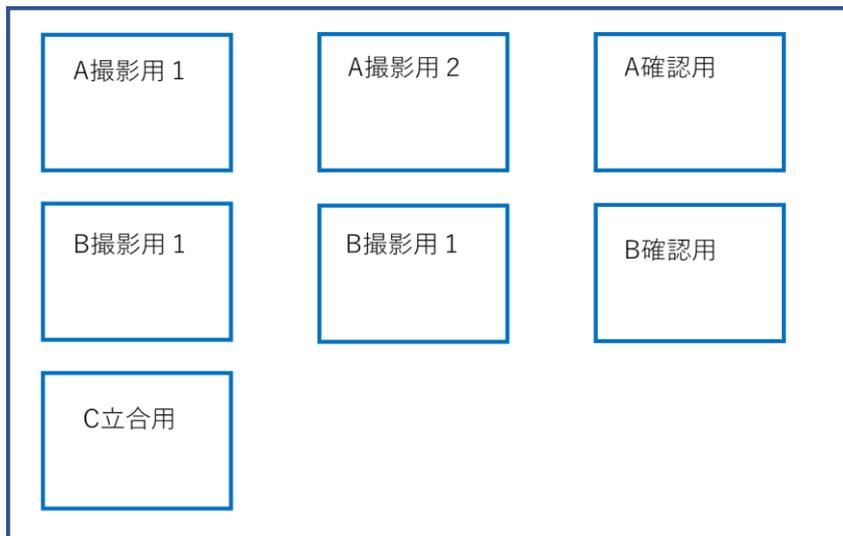


ブレイクアウト機能を使うと円滑に行えます。

それぞれの立合いが用意する書類

立合要項・公式記録用紙（1）・選手登録用紙（A 大学、B 大学分）・東京都学生弓道連盟規約（+規約の解釈付）・公式記録の付け方・立合状

女子の場合 立ちが交互に行われるため、1 部屋でも可能である。



試合の流れ

各大学で行われる試合を、zoom を利用して相互、立ち合いが監視する。

尚、立ち合い同士がコミュニケーションをとる場合が多々あるため、立ち合いの人は同じ場所から立ち合いを行うことが好ましい。

9：00 道場準備完了

9：30 一度両校代表者と立合の三者でつなぐ

立ち合いは立合状を記入して、両大学に共有する。

ZOOM の部屋は二つある。試合本番で使う端末で部屋をそれぞれ一旦作る

ZOOM① A 大学撮影用、立合、B 大学確認用

ZOOM② B 大学撮影用、立合、A 大学確認用

同時に引くと確認、的中の報告がおよそ同時に行われることから、部屋が2つ必要となる。(男子の場合)

女子の場合は交互に引いても時間に余裕があることから、1 部屋でも成り立つ。

三者で挨拶をして、一旦切る。(通信料などに余裕があれば繋いだままの方が望ましい)

9：40 付け矢開始

10：20 付け矢終了

付け矢が終わり次第部屋を繋げる。

それぞれが部屋に入る。

両方の立順の交換(事前に line グループを作っておく等の方法をとるとスムーズに行える。)

10:30 試合開始

立ち合いと対戦校で連絡を取り、「〇〇分から試合を行う」などのアナウンスを立ち合いがすると足並みをそろえて進行をすることが可能となる。

試合の進行状況は両校で合わせる。

確認の仕方は都学連 YouTube にアップロードされている動画を参照。

各回が終わり、確認が終わるたびに記録用紙を画面に見せるなどの方法で的中を照合する。
一回にかかる時間は大学によって異なる。よって同じペースで試合を行うため、各回ごとに立ち合いが両校の進行具合を見ながら「はじめ」のように合図を出す。

選手交代の時

選手交代があるときは、選手交代をする大学から相手校、立ち合いに共有する。方法は三者協議で事前に定める。(line グループなどを事前に作っておくとスムーズに行える。Zoom のチャットや口頭でも可能とする。)

交代が双方に受理されるまで次の立ちは開始しないように注意する。

終了後の流れについては立ち合いが入れる場合の要綱を参照。

日程表通りに開催した場合、学連事務所に結果報告

試合終了次第、両校の記録を一枚の記録用紙にまとめ、一方の主審は学連事務所に電話をし、試合結果の報告をする。

※連絡先は本要項表紙を参照のこと。

「リーグ戦 週、 ブロック

大学対 大学の試合が終了しました。」

的中報告、皆中賞報告

○立合書類提出→要項表紙を参照

日程表通りに開催できなかった場合

リーグ期間の土日であれば役員が事務所にいるが、その他のタイミングではない可能性が高い。

よって別日程で行われた場合は電話による報告はしなくてもよい。

立ち合い書類の提出については土日に事務所まで持参するか、pdfの形で公式記録用紙をメールで提出する。

提出先メールアドレス

r3.togakuren.iinkai@gmail.com

◇主なトラブル対処法

①附矢開始 30 分前に間に合わない場合

○学連事務所に速やかに連絡する

TEL 03-6910-0791/03-6910-0792

→待機している学連役員が、各校責任者に取り次ぎます。

②対戦校が遅刻した場合

○対戦校が来ない場合は**すぐに学連事務所に連絡する。**

○試合開始時刻に間に合わない場合は遅刻した大学の棄権とみなす。

(但し学連側の不手際や天変地異などの正当な理由がある場合は除く。)

③選手登録用紙に登録されていない選手がいる場合

○責任者に選手登録されていない者は出場が認められないことを伝える。

→解決しない場合は速やかに学連事務所に連絡する

【学連規約より抜粋】

第五十三条

①参加大学は本連盟が指定した日時までに出場選手を選手登録しなければならない。ただし追加登録は本連盟への申請を行えば随時認める。

②選手登録がされていない選手が出場した場合、当該選手の矢は全て外れとする。

④確認前に矢に触れてしまった場合

○その的全ての矢を外れとする。

【学連規約より抜粋】

第三十七条 的中規定は次の規定に従う。

③行射終了後、的中確認をする前に矢を一本でも抜いた場合、その的中全ての矢を外れとする。なお、それに準ずる接触行為も同様とする。また、的中直し等においても的中確認を要する。ただし、行射前の場合であれば的中確認の必要はない。

⑤不明な矢が出た場合

- 主審自らの場で確認する。その際、決して矢に触れてはならない。
- 「規約の解釈」を参照(学連規約冊子に添付)
→解決しない場合は学連事務所に速やかに連絡し、判断を待つ。

⑥不適切な選手交替がなされた場合

【学連規約より抜粋】

〈リーグ戦の場合〉

第六十三条

①各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手八名と控え四名の氏名を立合い及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく出場した場合、当該選手の矢を全て外れとする。

—6—

第六十五条

選手交代する時には、当該する立が本座に進む前に立合い及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく交替選手が出場した場合、当該選手の矢を外れとする。

7 失矢について

- 失矢については、「弓の本はずが膝から離れたあとに落ちた矢」を失矢とみなす。
失矢かどうかの判断は立合が行う。

8 監督・介添えの指導について

以下の行為を行った場合、該当する的中全ての矢を外れとする。

【学連規約より抜粋】

第四十六条

①選手が射位にいるとき監督・介添・観客・選手間で次の行為または指導をしてはならない。

- 一、選手の体に触れて指導すること。
- 二、選手の狙いを見ること。
- 三、射位より前に出ること。

四、選手が審判の死角となる位置に出ること。

②前項の行為を行った場合、該当する的全ての矢を外れとする。

9 引き直しについて

【学連規約より抜粋】

第四十五条

① 打起こしを開始した以降の引き直しはこれを認めない。但し試合運営に支障が生じる場合を除く。なお、試合運営に支障が生じる場合とは突発的な災害や事故及び危険な場合であり、引き直しに該当するかどうかの判断は主審が行う。

② 打起こしの基準は、本弭が膝頭から離れた瞬間とする。

③ 当該校が引き直しを主張できるのは当該選手が次の矢の打起こしを行うまでとする。但し、最終矢に関しては、的中確認まで主張できるものとする。

引き直しの手順は以下の通りです。

- ① 選手から引き直しの要請がある。
- ② 引き直しを行うかどうかの判断。トラブル解決。
- ③ 行射再開後、全選手の行射終了を待つ。
- ④ 的中確認および矢取り。
- ⑤ 主審の指導で引き直しを行う。